

登録コード	A3590317	開講年度	2026					
授業科目	科学英語Ⅱ					担当教員	喜井 勲	
英文授業名	Scientific English Ⅱ							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	3年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンベンション	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	・英語原著論文の構造を理解し、内容を読んで理解できる。 ・内容に対して批判的な姿勢をとることができる。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	・英語原著論文の内容から、その分野の背景を現状を理解し、その課題解決のために何が必要かを考察することができる。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	・英語原著論文の構造を理解し、内容を読んで理解できる。 ・内容に対して批判的な姿勢をとることができる。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	・英語原著論文の内容から、その分野の背景を現状を理解し、その課題解決のために何が必要かを考察することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	(1) 英語の原著論文を効率的に読む技術を学修し、その内容を早く正しく理解する技術を習得する。そのために論文の構造を理解する授業を実施する。 (2) 英語によるプレゼンテーションに必要となる発表資料の作成技術を習得する。 (3) 英語によるプレゼンテーションに必要となる発表フレーズを習得する。 (4) 英語による実験データの記述方法を習得する。 (5) 外国人研究者と研究ディスカッションを行う。 (6) Youtubeなどを活用し、英会話のトレーニングを行う。							
(5)授業計画	英文読解とプレゼンテーション 1. 学術データベースを用いた英語論文の検索（目標の設定） 2. 検索でリストアップされた候補論文の絞り込み（英文の速読） 3. 電子ジャーナルの活用 4. 選択した論文の全訳①（英文の熟読） 5. 選択した論文の全訳②（英文の熟読） 6. 論文内容の理解（文章の論理構成の理解，引用文献の読解） 7. プレゼンテーション資料の作成（英文読解により得られた知識の活用） 8. 論文内容のプレゼンテーションと討論（到達度の確認） 授業の最終回に授業アンケートを実施する。							
(6)自主学習の指針	(1) TOEICの過去問を数年分解くことでテストに慣れる。これにより点数の向上が期待できる。TOEICで高得点を出すためには、まず早く短時間で解く必要である。そのためには問題を早く短時間で理解するためのリーディング力の向上を図る。 (2) Youtubeなどには多くのフリーの英会話動画がある。これを活用することで英会話の能力向上を図る。自ら発音できない言葉は基本的に聞き取れないため、リスニング強化には、その単語や文章を自ら発音することが必要である。 (3) 外国映画を「日本語吹き替えなし」で「英語字幕」で鑑賞するなどにより効率的なリスニング力の向上を図る。その際、自らも発音することが重要である。 (4) 論文を早く正しく読むためには論文の構造を理解する必要がある。闇雲に読むのではなく、構造を理解した上で読む。これにより論文を読む速度が向上する。 (5) 論文のFigure legendを真似ることで、自分の研究データを英語で説明する技術を習得する。							
(7)成績評価の基準	TOEICテストの点数に対して30点分を配点する。また、TOEICテストに対する取り組み姿勢についても30点分を配点する。取り組み姿勢とは、過去問やYoutubeなどを用いたテスト勉強を示す。これに加え、研究室での英語原著論文の紹介で、内容を正しく理解しているかに対して40点分を配点する。論文を読むことはできているが正しく理解できていない場合は20点、正しく理解できている場合は30点、正しく理解しそれを自らの研究に活用する道筋を見つけれられていれば40点とする。							
(8)事前事後学習の内容	TOEICの過去問を数年分、何回か解くことを推奨する。また、Youtubeなどのフリー英会話教材を積極的に活用することを推奨する。外部講師などによる英語のプレゼンテーションを積極的に聞きに行くことを推奨する。							
(9)テストやレポートの予定	特に予定していない。							
(10)成績評価の方法	成績評価の配点基準は以下の通りとする。 (1) TOEICテストの点数の満点に対する割合 X 30点 配点30点 (2) TOEICテストに対する取り組み姿勢 配点30点 (3) 英語原著論文の紹介の内容と質 配点40点 これらの合計点を成績評価とする。							

(10)成績評価の方法	評価基準： S：90-100， A：80-89， B： 70-79， C：60-69， D：59以下（不可）
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室内で随時受け付ける。
(12)履修上の注意	対象学生：生命機能科学コース3年生 研究室配属後の履修となる。開講形式は研究室ごとに異なるので注意すること。
【教科書】	指定しない
【参考書】	参考となるウェブサイトや本（研究室で保有）などを適宜紹介する。